

平成23年度事業計画

(基本方針)

国際都市大阪の「海の玄関口」大阪港では、大阪都市圏の物流を支えるための港湾機能の強化と臨海地域の活性化に向けた諸施策が実施されています。

平成22年のコンテナ取扱量が、平成20年秋のリーマンショック以前の水準に戻るなど港勢も順調に回復してきているなかで、昨年8月には、大阪港は神戸港とともに阪神港として「国際コンテナ戦略港湾」に指定され、西日本の産業と物流を支える拠点港湾の形成と国際競争力の強化に重点的に取り組んでいくこととしています。

また、大阪港では経済の活性化や産業の振興に資するため企業の誘致活動に取り組むとともに国内外からの集客を図るため、施設間の回遊性の向上など「にぎわいのあるまちづくり」が推進されております。

このような状況の中で、本年4月1日より当協会は公益社団法人として新たなスタートを切ることとなりました。

当協会はこれまでも、大阪港の発展に向けた役割と支援を果たすため、官公労を連携するパイプ役を担うとともに、既存航路の確保・充実や新規航路及び貨物の誘致、クルーズ客船の誘致による観光促進や市民交流など、大阪港の振興活動に力を注ぎ、市民に親しまれる港の積極的なPR活動に努めてまいりました。

当協会は今年度から公益社団法人として業務を進めていくにあたり、再度、協会の役割を見つめ直し、大阪港の振興発展に向け、大阪市や関係諸団体と連携、協力して取り組むことにより、大阪経済と臨海地域の発展に寄与してまいりたい所存です。

また、海洋文化の普及啓発や帆船「あこがれ」による航海体験事業を通じて、市民の海洋や港湾に関する知識と関心を高揚することにより、大阪港の振興を図るなど、関係各界からの協力、支援のもと、次の事業を実施してまいります。

I. 公益目的事業

【大阪港の果たす役割や魅力について知識の普及啓発を図る事業】

1. セミナー事業

(1) シーサイドフォーラム

大阪港の機能や役割、その重要性を普及啓発するために、学識経験者や行政・荷主企業等の港湾物流に精通した専門家を講師として迎え、セミナーを企画開催する。

(2) 大阪港施設見学会

大阪港の機能や役割、その重要性を普及啓発するため、民間船等をチャーターし、大阪港の見学会を実施する。本事業では、大阪港を核とした地域づくりの現状や、大阪港とその背後圏との社会的、経済的、文化的な結びつきについて、案内プログラムを作成し、生涯学習の観点から、参加者の大阪港に対する知識の習得を図る機会を創出する。

2. イベント事業

(1) 大阪港ポート天国

海上安全の確保を含めた海洋性レクリエーションの健全な発展と海事思想の普及を図るため、毎年7月に、大阪港の一定海域を活用し市民が海に親しむためのイベントを、大阪市、大阪海上保安監部、大阪市水上消防署をはじめとする関連団体と共催する。

(2) 川と海をつなぐ舟運にぎわいまちづくり事業

ベイエリアと都市部の海と川を結ぶクルーズを実施し、市民に「水の都 大阪」の魅力を改めて知ってもらうとともに、ほたるまち港（福島区）や中央卸売市場港（西区）など船着場周辺で多彩な関連イベントを展開し、水辺環境や水資源でつながった各地域の歴史・文化・観光資源を生かしたまちづくりを市民協働・官民連携で進める。

(3) 水上アクセス魅力向上事業

市民や関係事業者・行政・関連団体等と連携して、大阪港（天保山）を観光拠点に水上アクセスを生かして地域観光資源や集客施設間を回遊させることで、アジアを中心に増加する観光インバウンドなどの観光客を獲得し、地域の活性化をめざすとともに、水都大阪の魅力の向上を図る。

3. 情報発信事業

(1) 情報誌「大阪港」の発行

大阪港の果たす役割や魅力について、正しい知識を普及啓発するため、大阪港の現状や取り組み、まちづくりの推進などの大阪港に関する最新情報や、海・船・港について小中学生にも理解しやすいページ、大阪港をめぐる物流動向の分析など専門性の高いページ、読者の寄稿による大阪港への意見・要望などを内容とする情報誌を発行する。

【大阪港の魅力創出に協力する事業】

4. ポートプロモーション事業

(1) 大阪港利用促進事業

大阪港の利用促進を図ることを目的として、大阪市や関係団体と連携・協力し、大阪港の魅力を生かして、市民や関係官庁、企業等など、プロモーション先の対象や方法を検討し、次の事業等を実施する。

(ア) 大阪港の機能・役割・魅力を紹介したパンフレット等の作成・配布

- (イ) 海事専門誌をはじめとするメディアへ、大阪港の機能・役割・魅力を紹介した記事や広告の掲載
- (ウ) 大阪港の利用促進を図るために、規制緩和等の国家要望
- (エ) その他大阪港の魅力創出にかかる活動

(2) クルーズ客船誘致事業

充実した歴史文化遺産などを背後圏に有する大阪港の魅力を知ってもらい、クルーズ客船を大阪港に誘致するために、国内外で開催されるクルーズ船社が一堂に会するコンベンション等へ積極的に参加するなど、さまざまな機会をとらえて大阪港へのクルーズ客船誘致に向けた次の取組みを行う。

- (ア) クルーズ船社に対するパンフレット等の配布
- (イ) クルーズ船社に対するプレゼンテーションの実施
- (ウ) その他クルーズ客船誘致にかかる活動

5. 入港歓迎行事実施事業

(1) 入港歓迎事業

大阪の海の玄関口である大阪港にて、外国船舶や外国人旅客等の大阪港寄港を市民とともに歓迎し、大阪の歴史・文化・ホスピタリティを伝える機会を創出することで、外国船舶外国人旅客等と市民の国際交流を推進し、地域の発展に寄与する。

具体的には、大阪港に寄港した外国船舶ならびに外国人旅客等に対し、ブラスバンドによる入港歓迎演奏や入港記念品の贈呈、観光案内や外貨両替サービスなどの入港歓迎事業を実施する。また外国人乗船客に対し、市民ボランティアと協力し、餅つきや野点など季節に応じた日本文化に伝える国際交流行事を行う。

【大阪港の魅力を直接市民に体感させるための帆船による航海体験事業】

6. 航海体験事業

(1) 帆船「あこがれ」における航海体験（共同作業・共同生活）を通じ、海を通じて発展してきたわが国において大阪港の果たす役割・機能や大阪港の魅力のほか、大阪の歴史や文化などを学ぶ契機とするとともに日常生活での自己を見つめなおし、他者とのふれあいの中から豊かな人間性の涵養を図る。

具体的には、青少年をはじめとして、小学4年生以上であればだれでも乗船できる帆船「あこがれ」を活用し、海上で、セイルを張る、畳む訓練、マスト登りやロープワーク、航海時の当直等を実際に体験できるコースなど、多様なコースを設定し、海や船に親しみ、海洋に対する理解を深めてもらうためのセイル・トレーニング事業を実施する。また随時、船内の一般公開を実施し、訪れた方々に帆船の魅力を紹介する。

II. 収益事業

【不動産の管理・運営に関する事業】

1. 不動産管理運営事業

(1) コンテナ、シャーシ、中古建機等置き場の管理・運営事業

コンテナゲートの開閉時間が限定的のため、閉門時間帯には、コンテナ輸送車などの路上駐車が発生し、他の車両の運行に支障が生じている。これら問題を解消し、物流機能を向上させることを目的に、大阪市所有の臨港地区における遊休地を借り受け、コンテナやシャーシ、中古建機等の置き場として整備し、大阪港ユーザーに貸付、管理・運営する。

(2) 遊休地の管理・運営事業

大阪ベイエリア地区における集客施設等に、自家用車で移動する利用者の便宜に供するため、大阪市所有の遊休地を整備管理し、また一部を、駐車場として整備し、管理・運営する

Ⅲ. その他事業

1. 調査研究・提言事業

(1) 大阪港活性化懇話会

クルーズ客船、貨物船をはじめとする様々な種類の船舶の大阪港寄港の促進から、大阪ベイエリアへの観光促進まで、大阪港の活性化にかかる諸課題について、テーマを決めて調査研究を行う。船社・旅行代理店・船舶代理店・関係行政機関・外部専門家を交え、その方策を検討・分析し、関係諸団体に対し提言する。

(2) コスモスクエア地区活性化推進事業

咲洲コスモスクエア地区の活性化と地区の魅力向上に資することを目的に、歩行者動線へのバナーの設置や、チャンネルを活用した取組み、地区内の進出企業と連携したイベント実施など、地区の賑わい創出につながる施策を検討・実施する。また、地区の回遊性向上に向け、将来のレンタサイクル事業化に向けたコミュニティサイクルの導入検討や歩行者案内の充実など検討・実施する。

2. 連携・協力事業

(1) 姉妹港会議

大阪港と姉妹港・友好港関係にある7つの港（サンフランシスコ、メルボルン、ル・アーブル、上海、バルパライソ、釜山、サイゴン）が相互の親睦を図り、技術的な情報交換の場を持つことを目的として1982年より開催されている。

今年度は大阪港で開催されることとなっており、各港における港湾運営のあり方や効果的な臨海地域の開発について意見交換のための交流の場を設ける。

(2) 大阪港ユーザー懇談会

大阪港を利用するユーザーや関係団体、行政機関などとの意見交換により、利用しやすい港づくりに向けた振興策の検討や課題の解決に活用する。

(3) 大阪港海難防止対策委員会

大阪港に入出港する船舶の安全対策並びに海難防止に関する諸対策を総合的に実施するとともに、スムーズな連絡体制の構築のために開催する。

(4) コスモスクエア開発協議会

臨海部の「コスモスクエア」地域における高度都市機能の集積と快適で魅力のあるまちづくりを推進するため、地域の関連企業や団体による情報交換や情報発信の拡充に取組み、市民生活の一層の向上をめざす。

(5) 大阪ベイエリア連携会

大阪ベイエリアの一層の発展を目指し、大阪ベイエリアに立地する観光・宿泊施設などと連携して、大阪ベイエリアへの集客アップと集客施設間の回遊性向上をはかり、マップ作成などの広報活動やキャンペーン事業を実施する。

(6) 関西クルーズ振興協議会

関西圏の諸都市、観光地、港湾の有機的な連携を促進し、クルーズ客船誘致や観光振興並びに観光産業の活性化を一体的に推進し、関西全体の地域振興を図る。

(7) 大阪港整備事業説明会

港湾施設の整備促進や港湾環境の改善など、港の効率的運営に向けた取り組み状況と、大阪市の整備事業についての説明会を開催する。

(8) 新規採用者研修会

大阪港関連企業の新規採用者への研修説明会として、大阪港のビデオ上映、講師を招いての概要説明、また関連施設の見学ならびに広報船による大阪港見学会を実施する。

(9) 大阪港広報サテライトの管理・運営

大阪港広報サテライト（大阪港 PR コーナー、市民ギャラリー、大阪港メディアルーム、会議室、マルチメディア室、喫茶室）の管理運営をする。

(10) 異業種懇親会の開催

会員企業等を中心に、業界・業態を横断的に、参加者を募り、親睦を深め、情報交換等を活

発化させる取組を実施する。

(1 1) 施設見学会の開催

大阪港振興倶楽部と連携し、関西圏を中心に、新たに竣工した物流施設等を見学し、最新の物流環境等を学び体験できる機会を提供する。

(1 2) 海外使節団受入業務の実施

姉妹港（友好港）をはじめとする外国の港湾関連団体から、大阪港視察団を受け入れ、民間船等を活用し、大阪港の整備状況等について、解説、案内する。

(1 3) 大阪港クルーズ客船フォトコンテスト

市民が海・船・港に触れ合う機会を創出し、より親しまれる大阪港をめざすため、大阪港に寄港するクルーズ客船をテーマとしたフォトコンテストを開催する。

3. 大阪港記念品等頒布事業

(1) 大阪港記念品頒布事業

荷主や船社などの港のユーザーや一般市民に、大阪港への関心を高めてもらうことを目的に、大阪港の港湾計画や現在の取り組み、施設の概要やスペック、利用料金などの情報をわかりやすく掲載した各種冊子や大阪港記念グッズの製作・頒布をする。

(2) 帆船「あこがれ」グッズ頒布事業

帆船「あこがれ」に関する関心を高め、利用の促進を図るために、帆船「あこがれ」に関するグッズを製作・頒布する。